

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

中枢性めまいの除外における特定の問診情報の有用性の検証

1．研究の対象および研究対象期間

2022年4月1日8:30～2024年4月1日8:29に、めまい、ふらつきの症状で昭和大学病院救急外来を受診した患者さん

2．研究目的・方法

めまい、ふらつきを訴えて救急外来を受診する患者さんは救急外来受診患者数の0.4-3%を占めるとされています。このうちの半数以上は耳の病気を原因とするめまいですが、中には脳梗塞や脳出血、脳腫瘍といった脳の疾患が紛れ込んでいます。こうした脳の疾患はCTやMRIを撮像することでほぼ発見が可能ですが、閉所恐怖症の方や体内金属が入っている方などではしばしば撮像ができません。また、撮像すること自体が高額な費用や時間といった患者さんへの負担につながります。そこで、客観的で簡単な質問によってCTやMRIを撮像することなく脳を起因とする危険なめまいを除外できないか検討することが患者さんの負担軽減に大きく寄与するのではないかと考えて当研究を行うこととしました。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年 12月31日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの

年齢・性別、来院時刻、来院手段

来院時バイタルサイン（意識レベル、体温、血圧、脈拍、呼吸数、SpO₂）

随伴する神経症状の有無

嘔気嘔吐の有無

HINTS（ヘッドインパルス検査・眼振・眼球斜偏位）の実施状況とその結果

安静による症状消失の有無

注視眼振の有無
頭位眼振/頭位変換眼振の有無
CT・MRIの実施状況とその結果
転帰(帰宅・入院)
入院の場合、救急外来受診翌日の症状の有無と入院日数
最終診断

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

研究責任者 研究機関名：昭和大学病院 救急救命科 氏名：菊地 一樹

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 救急救命科 氏名：菊地 一樹

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8000 (病院代表)